

雲量測定



材料・器具：データシート

観測する

雲量は全天を雲が覆っている割合によって判定する。

雲の種類測定と同じ場所で測定を行う。

雲量判定基準（一つのみ選択）



No Clouds

快晴



Clear



Isolated

まばらな



Scattered



Broken

隙間がある



Overcast

覆われた

0%-No Clouds

<10% Clouds

10-25% Clouds

25-50% Clouds

50-90% Clouds

>90%



Obscured Sky(不明)：視程が悪く雲の観察ができない

※Obscured Sky の場合には、視程が悪い原因を次の中から選択する



Blowing Snow
[地吹雪]



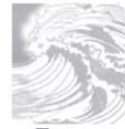
Heavy Snow
[大雪]



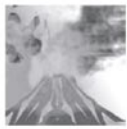
Heavy Rain
[大雨]



Fog
[霧]



Spray
[海水等の飛沫]



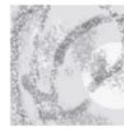
Volcanic Ash
[火山灰]



Smoke
[煙霧]



Dust
[砂塵嵐]



Sand
[砂嵐]



Haze
[もや]

【全天の一部が Obscured で、部分的に雲の種類が判断できる場合は…】

全天の 1/4 以上が Obscured であれば「Obscured Sky」と記録し、確認できた雲の種類もあわせて記録する。Obscured の割合が 1/4 以下であれば、雲の種類と雲量を記録し、Obscured Sky である割合も記録しておく。

記入する

データを読み取り、データシートに記録する。

⇒グローブデータサーバーに送信！